火遊びは、しません

各保育所・幼稚園で幼年消防クラブ結成式

子どもたちに防火の意識を高めてもらうため、５月は、各保育所・幼稚園で幼年消防クラブの結成式が行われました。

５月10日、町立第５保育所（山田千代子所長、福田校区）で行われた結成式では、保護者や関係者が見守るなか、隊長の藤原佳史くんを先頭に、計14人の園児たちが元気よく入場行進。整列後、一人ずつ名前を呼ばれると「ハイ!!」と大きな声で返事をしていました。

最後に、子どもたちが声を揃え「私たちは絶対に火遊びはしません！」「私たちは守ります。火の用心！」と防火の誓いを行うと、会場から大きな拍手が送られました。

元気に防火の誓いをする園児たち

力作を審査する審査員の皆さん

ふるさとの「桜」が一堂に

「桜」写真コンテストの作品審査行われる

３月15日から４月30日にかけて町が募集した、「桜」写真コンテストの作品審査が５月10日、役場会議室で開かれ、最優秀賞１点と優秀賞２点が決定しました。

ふるさとの「桜」咲く風景を切り取った作品は65点（29人）。熊本日日新聞社御船支局長の穀本純二氏のほか古閑森副町長、森永教育長、坂田教育委員長など７人が審査を行いました。

全応募作品は、６月１日からミナテラスで展示します。受賞作品は次の通りです。（敬称略）

最優秀賞	「早朝」	川野あゆみ（福　原）
優秀賞	「春らんまん」	武田　博（馬水北）
同	「七福神桜」	林田　豊（辻団地）

書道で文部科学大臣賞

上杉純さん（馬水北）

作品を手に受賞を喜ぶ上杉さん

１月30日から２月３日にかけて、第31回全日本学生選抜書道展（財団法人日本書道教育学会主催＝東京都）の作品募集が行われ、小学部上級に応募した広安小６年の上杉純さん（現在益城中１年）の作品「旅行記」が、最高賞である文部科学大臣賞を受賞しました。

作品展には、就学前の子どもから高校生まで全国から３千点以上が出品され、文部科学大臣賞受賞は小学生１点、中・高校生２点の計３点のみ。受賞作「旅行記」は、線の流れと文字同士または名前との統一性が優れ、小学生レベルでの気持ちの入れ方などが高い評価を受けました。

上杉さんは「受賞を聞いたときは本当に驚きました。先生や周りの人たちに感謝しながら、これからも頑張っていきます」と喜びを語ってくれました。